

特別試写会＋監督との意見交換会

日時：2020.11.15(日) 17:30～20:30(開場17:00) 会場：元町映画館2Fイベント室 参加費：1000円 定員：20名

お申込連絡先：info@motoei.com / 078-366-2636 内容についてのお問い合わせ：mail@akimiota.com

カナルタ

螺旋状の夢

太田光海
監督作品





セバスティアンとパストーラは、エクアドル南部アマゾン熱帯雨林に住むシュアール族。かつて首刈り族として植民者たちから恐れられたシュアール族は、スペインによる植民地化以後も武力によって征服されたことがない民族として知られる。チチャ、あるいはニヒヤマンチと呼ばれる口噛み酒を飲み交わしながら日々森に分け入り、生活の糧を得る一方で、彼らはアヤワスカをはじめとする覚醒植物がもたらす「ヴィジョン」や自ら発見した薬草との関わりを通して現実と未来を同時に生きる。変化し続ける森との関係性の中で自己の存在を問い直し、新たに紡ぎ出しながら。だがそんなとき、ある出来事が彼らに試練を与える…。

『リヴァイアサン』（2012年、ハーヴァード大学感覚民族誌研究所）などの成功により、近年映画界でも注目を集める映像人類学。大西洋を隔てたもう一つのパイオニア、マンチェスター大学グラナダ映像人類学センター最新の博士号取得者が放つ意欲作、『カナルタ 螺旋状の夢』。私たちは「自然」とどのような関係を結ぶことができるのか？映像を通して「他者」と向き合うとは、どういうことか？生々しくかつ研ぎ澄まされた映像と音響がかつてない精神の旅にいざなう、新感覚ドキュメンタリー。



監督紹介

太田光海(おおた あきみ)

1989年東京都生まれ。神戸大学国際文化学部(現国際人間科学部)卒業後、パリ社会科学高等研究院(EHESS)人類学修士課程修了。モロッコやパリ郊外で人類学的調査に従事する傍ら、共同通信パリ支局でカメラマン兼記者として活動。同時期、シネマテーク・フランセーズに足繁く通う。その後、マンチェスター大学グラナダ映像人類学センター博士課程に進学。エクアドル・ペルー両国にまたがるアマゾン熱帯雨林での1年以上に渡るフィールドワークを経て、2020年、初監督作品『カナルタ 螺旋状の夢』を発表。博士(社会人類学)。